

皆様いかがお過ごしでしょうか。気候の良いこの時期は、毎年、日本が関係する文化行事が目白押しで、当地における日本文化への関心の高まりに総領事館としても大変嬉しく思っております。また、この時期は平和を祈念する大切な時です。当総領事館も、これら行事に様々な形で精力的に関与させていただきました。

●モントリオール国際花火競技大会

6月26日から7月31日にかけて、由緒あるモントリオール国際花火競技大会が行われ、本年は日本からは、Great Sky Art が参加されました。選び抜かれた音楽に合わせ、花火が大空を様々な色彩で塗り替え、また、左右に素早く飛び交う匠の芸術で、30分弱の間、常に観客を魅了していました。残念ながら入賞には至りませんでしたが、抜群の素晴らしいパフォーマンスと思いました。出場者の方々のご尽力に敬意を表します。



●フェスティバル祭り

7月5・6日、昨年に引き続き、モントリオール日系文化会館で「フェスティバル祭り」が開催されました。各種日本食、スイーツ、着物、アート、クラフトなど多くの屋台が軒を並べるなか、おみこしパレードや和太鼓演奏、民謡踊りなどの披露が行われ、日本の夏祭りの雰囲気が醸し出されました。この行事は、今後様々な日本文化に触れるきっかけになったことと思います。当館はブース出展を行い、日本の観光案内や、日本文化、JET プログラム、国費留学生制度などを紹介しました。お越しいただいたみなさん、運営関係者やボランティアの方々、ありがとうございました！



●マロワ・ケベック大学モンリオール校（UQAM）総長・元ケベック州首相への表敬

7月8日、ポリン・マロワ・ケベック大学モンリオール校（UQAM）総長・元ケベック州首相と面会し、同大学における日本語や日本の政治経済に関する講座、日本の複数の大学との交流、ケベックにおける日本文化紹介等に関して有意義な意見交換を行いました。マロワ総長は、我々を温かくお迎えくださると共に、大学の重点事項や日本旅行の思い出などを語ってくださいました。



●ファンタジア国際映画祭

7月16日～8月3日まで、モンリオールにて毎年恒例のファンタジア国際映画祭が開催されました。日本の映画も数多く上映され、プロデューサー、監督、俳優など、日本からのゲスト参加もあり、大いに盛り上がりました。

●ケベックー日本友好協会主催第5回桜祭り

7月27日、ケベック市において、ケベック日本友好協会が主催する第5回「桜祭り」が開催され、晴天の下、前回の3倍以上となる1800人近くの来場者が日本の夏祭りの雰囲気を楽しめました。日本酒、盆栽、マンガに関する講演、嵐太鼓公演、浴衣を着ての阿波踊り、書道、墨絵、折り紙、茶道のデモンストレーションなど、盛りだくさんのプログラムでした。当館からは石川副領事の挨拶のほか、当館職員によるJETプログラム・国費留学生等に関する講演・ブース出展を行いました。日本文化の紹介にあたられた主催者や出展者の方々に感謝申し上げます。



●JET 歓送レセプション

8月1日、公邸にて、今年、JET プログラムにてケベック州及び大西洋各州から日本に出発する16人のJET参加者の歓送会を行いました。彼らの日本への出発の前日で、参加者の方々の希望と意欲に満ちた表情が印象的でした。親切で優しいカナダからの参加者の皆さんが、各任地で、日本の生徒さんたちへの英語教育や国際交流を支援してくださるのは、日本にとっても重要なことです。彼らが、カナ



ダの代表として同国事情を生徒に紹介し、日加両国民の相互理解と関係の深化に貢献されるものと確信しています。参加者の皆さんにおかれては、日本での生活の近況など、是非教えてください！

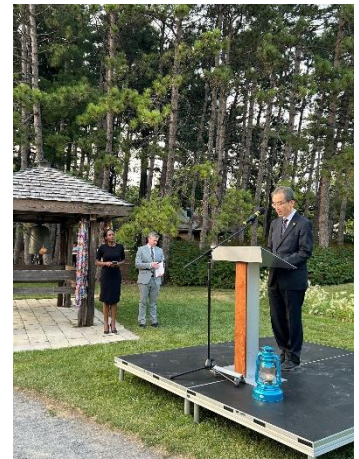
注：JET プログラムとは、語学指導等を行う外国青年招致事業（The Japan Exchange and Teaching Programme）の略で、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。

●広島平和記念式典

8月5日夕刻、ムサウ・ムエレ・モントリオール市議会議長とともに、モントリオール市立植物園内の日本庭園にて開催された広島平和記念式典にて、80年前の広島原爆投下時刻に合わせ、同庭園に設置されている「平和の鐘」を共に撞き、出席者と共に黙祷を捧げました。この鐘は27年前に広島市からモントリオール市に対し寄贈されたものです。また、松井広島市長のメッセージが、仏語、英語、日本語で読み上げられました。同式典には、連邦議会議員、当地滞在中の広島出身の学生など100名を超える多数のモントリオール市民などの方々に出席いただきました。現下の安全保障環境は一層厳しさを増す中、核なき世界への決意を新たにするとともに、広島と長崎における原子爆弾の犠牲となられた方々に対し、謹んで、哀悼の意を表します。また、広島市との姉妹都市関係の下、27年間にわたりこの行事を主催してくださっているモントリオール市当局に改めて感謝申し上げます。

なお、モントリオール市は、この時期に合わせ、8月4日から8日まで、Conseil des arts de Montréalにおいて被爆者によるポスター展を開催しました。また、モントリオール市立植物園日本館では、広島平和記念資料館協力の下、被爆証言者と高校生の共同制作による原爆の絵の展示が10月31日まで行われています。

<https://calendrier.espacepurlavie.ca/hiroshima-n-relayer-lrhistorie-une-exposition-bouleversante>



●モントリオール日系文化会館での平和祈念行事

また、8月9日には、モントリオール日系文化会館にて、原爆投下から80年となる機に、80 Years: Remembering Hiroshima & Nagasaki と題する集いが催されました。50人を超える方々が参加し、10人の大所帯から成る Shima no Taiko MTL による心のこもった鎮魂歌や太鼓パフォーマンスが披露された後、長崎を舞台にした映画『Okurimono』が上映されました。来場者の方々や、この行事を準備された日系文化会館に感謝申し上げます。



●オタクソン

8月8日～10日、モントリオール市内パレデングレ国際会議場にて、今年20周年となった、当地最大規模の日本ポップカルチャー・コンベンション「オタクソン」が開催されました。今年は、モントリオール市長からのメッセージも得て、日本のアニメやマンガ、コンピューターゲームのファンの方々など34,300人を超す多くの人々で賑わいました。また、日本から、マンガ・アニメ等の作者、声優、ミュージシャンの方々も多く招かれていました。当館は、JETプログラムや国費留学生などを紹介するブースの出展や、裏千家淡交会モントリオール支部による茶道、志道館による柔道といった伝統文化の紹介や、マンガで学ぶ初級者のための日本語講座を行いました。日本語講座については、アニメやマンガ等で日本に関心を持って頂いた方々に、一歩進んで日本語学習にも着手頂ければという趣旨で企画したところ、300人近い方々の参加がありました。また、JNTOが、アニメの聖地に関する情報も含めた日本への観光に関する工夫された講演を行い、こちらも300名近い方々が聞き入っており、日本観光に対する関

心が引き続き高いことがうかがわれました。その他、様々な日本やアニメ・マンガに関するワークショップが開催されました。これらのイベントは日本の多面的な魅力を発見してもらう良い機会となりました。

また、恒例のコスプレ大会のマスカレードにおいて、52組の中から、日本総領事賞を授与しました。昨年に引き続き、いずれも出場者の方々の日本のアニメやゲームへの愛情や衣装のクオリティの高さが伝わる作品ばかりで、1000人近い聴衆の方々の熱気と併せ、そのエネルギーに圧倒されました。オタクソン関係者の皆様、大変お疲れ様でした。



＊上記の他にも、日本やカナダの様々な方や団体の関係者と意見交換などを行うことができ、大変有意義な1か月でした。

＊本メッセージは仏・英語にても、メルマガ読者に配信しています。